

令和元年度

事務事業評価表 A (平成30年度の実績評価)

記入年月日
平成 31 年 4 月 8 日

Table with columns for 事務事業名, 事業区分, 担当, 政策体系, 予算科目, and 法令根拠. Includes details for '文化財の保存・活用' and '文化財保護事業'.

(Do) 1. 事務事業の現状把握 (その1)

Table with 2 columns: ①事務事業の概要 (事務事業の全体像) and ②担当者が行う業務の内容・やり方・手順. Includes text about national associations and funding.

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table with columns for ①手段, ④活動指標, ②対象, ⑤対象指標, ③意図, ⑥成果指標. Includes data for participation, staff numbers, and knowledge acquisition over 29, 30, and 01 fiscal years.

(3) 投入量 (事業費) の推移

Table showing input amounts (事業費) for 29, 30, and 01 fiscal years. Includes sub-categories like 国庫支出金, 県支出金, etc., and a total for 期間限定総投入量.

Table comparing 30年度事業費実績 (千円) and 01年度事業費予算 (千円). Includes rows for 19 負担金補助及び交付金 and a total (合計) of 50.

(4) 当該年度の実施内容

Table with 3 columns for 01年度, 02年度, and 03年度の事業内容. Includes a list of main activities (主要事業) and a note about recording content by fiscal year.

| | | | | | |
|-------|---------------------|---------|-------------|-----|-------|
| 事務事業名 | 全国・関東史跡整備市町村協議会参画事業 | 事務事業No. | 20501000894 | 所属課 | 生涯学習課 |
|-------|---------------------|---------|-------------|-----|-------|

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

| |
|---|
| (5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 平成6年に真壁城跡が国史跡の指定を受けて史跡整備の開始以降に加入。現在に至るまで特に変化はなし。 |
| (6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか? 文化庁の指導により史跡事業を迅速に推進させる。 効果的かつ効率的な整備手法や活用方策を確立させる。 |
| (7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容 |
| 現状維持 |

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目

| | |
|-----------|---|
| 目的 妥当性 | ①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 文化財保存・活用を促進する |
| | ②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 文化財は公共の財産であるため、市が当事業を行うのは妥当である |
| 有効性 | ③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 本協議会に参加することで、最新の専門的知識の取得や情報を得ることができる。 |
| | ④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 史跡整備事業の進捗率および技術の向上がはかれなくなる |
| | ⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 史跡整備事業の指導機関である文化庁と連携した、全国規模では唯一の協議会であるため |
| 効率性 | ⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか? やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある 負担金額が決まっているため削減はできない |
| 公平性 | ⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 国史跡を所有、管理するほぼ全ての自治体が参加している |

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

| | |
|---|--|
| (1) 1次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり | (2) 全体総括(振り返り、反省点) 総会、研修会の参加により、参考事例を知ることができ、中長期的な業務計画及び実施に活用できている。 |
| (3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 | (4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) コスト 削減 維持 増加 成果 向上 ○ 維持 低下 |
| (5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 旅費、人員の面から参加できていない研修もあるので、加盟市町村との情報交換を密に行い、成果の吸収量を増やす。 | (6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 ⑨ コスト削減優先度評価結果 |

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

| | |
|--|--|
| (1) 課長評価 課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出 | (2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) 確認欄 <input type="checkbox"/> |
|--|--|